

授業科目 生活福祉経済論

【担当教員名】 青山美千子	対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・健康・社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30
<p><概要> 激動する社会の中で、人々は何を考え何を求めて生活しているのだろうか。不安感に揺れ動く人々のくらしと問題点を探り、対策を考えて「健康で文化的な」安定した生活を目指し、ライフプランを立てる必要がある。とりわけそのライフプランの中で、社会保障制度が「生活の安全」を守るセーフティネットの役割を果たし、国民が生活福祉を確立する「権利と責任」を持つための課題を明らかにする。</p>				
<p><学習目標> ①国民生活の現状と「生活の安全」を脅かすくらしの被害を探る。 ②消費者＝生活者の「安全」「情報」「選択」「意見反映」などの「権利と責任」を考える。 ③合理的な生活設計に必要な基礎知識を身につける。 ④生活福祉経済の社会システムを考える。</p>				
回数	授業計画又は学習の主題			SBO 番号 学習方法・備考・担当教員
1 2 3	国民生活の現状 と問題点	国民生活の不安の実態、増大するくらしの被害、とりわけ若者と高齢者の生活トラブルを検討して、社会保障の役割を掴む。		講義
4 5 6	消費者の「権利と 責任」	消費者の基本的権利と自己責任、「保護」と「自立」、規制緩和と市場主義経済下のくらしを考える。		講義
7 8 9	合理的なライフ プラン	生活設計に必要な基礎知識。衣・食・住生活や金融サービス、年金など、生活福祉プランに必要な社会サービスの問題を探る。		講義
10 11 12	豊かなくらしと 社会システム	市民運動やNPOの活動を調べ、生活福祉に欠くことのできない地域社会のネットワークと、「自己責任」の環境整備を整える。		講義
13 14	まとめ	各自それぞれのライフプランを立て、問題点を指摘する。		講義
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	「くらしの豆知識」2002	国民生活センター	国民生活センター	2002年 450円
参考書	「国民生活白書」2001年度版	内閣府国民生活局	大蔵省印刷局	2002年 1340円
その他の資料	随時			
【評価方法】 学習活動・学習態度およびレポート	【履修上の留意点】 各自のくらし方、家族の生活をみつめて課題を主体的に考える。			